

令和7年度（2025年度）

事業報告書

特定非営利活動法人キープ・スマイリング

1 事業の成果

■病児等を育てる家族に対する生活支援事業

①ミール de スマイリング事業

飲食店や地域の支援者と協働し、入院中の子どもに付き添う家族へのお弁当提供を継続した。東京、佐賀、ドナルド・マクドナルド・ハウス等、全国5か所以上で月1回程度実施し、延べ1,042食を提供した。協力店舗・シェフは延べ30軒以上にのぼり、企業からの食材費寄付や、企業従業員による調理ボランティアの受け入れも継続した。

②付き添い生活応援パック無償配布事業

長期付き添い入院となった家族に対し、食品・衛生用品・生活用品を詰め合わせた支援物資を、全国の病院を通じて無償で提供した。年度内の発送数は3,131個となり、累積発送数は13,000個を突破した。物品提供企業は延べ150社を超え、支援の輪が着実に広がっている。

③付き添い生活応援パックライト事業

短期・緊急入院の付き添い家族を対象とした支援策として、前年度の試験導入を経て、2025年7月より本格運用へ移行した。3月末時点で全国54病院へ発送し、2025年度累計で8,725個を届けた。受け取り家族だけでなく、配布を担う看護師長からも高い評価を得ている。また、企業によるパックライト梱包ボランティアを、有償ボランティア活動として受け入れた。

④交通費支援事業

2026年2月より、子どもの入院に伴い交通費負担が生じる付き添い家族への交通費支援事業を開始した。既存制度では十分に対応しにくい交通費負担に着目した、NPO法人として先駆的な支援である。心臓・腎臓の移植に関わる長期入院の子どもを家族を対象に開始し、3月には4病院6名へ交通費補助を実施した。2026年度は対象の拡大を予定している。

⑤情報提供事業

付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」は、付き添い生活に関する情報提供の場として活用が広がり、月間アクセス数は1万人を超え、年間アクセス数は約13万人となった。

また、付き添いに関する情報をまとめた小冊子「つきそい応援団ハンドブック」は、「付き添い生活応援パックライト」への同梱配布を継続するとともに、学会ブース出展をきっかけに送付希望病院が増加した。看護師からの評価も高く、付き添い家族への情報提供ツールとしての役割を着実に果たしている。

⑥付き添い者向けクリスマスプレゼント配布事業

年末年始を小児病棟で過ごす子どもと家族へのエールを込めて、2025年12月に全国43病院へ1,565個の親向けクリスマスプレゼントを届けた。付き添い入院という社会課題の啓発も兼ね、一部のラッピング作業は企業内ボランティア活動として実施した。

⑦病院支援事業

全国の小児病棟における付き添い環境改善を目的として、個別の病院の課題に応じた物資の寄贈、情報提供、企業や奉仕団体の紹介等を行う包括的な支援事業に着手した。また、付き添いベッドに適した素材・サイズのオリジナルマットレスを製造・寄贈し、付き添い家族の睡眠環境改善にも取り組んだ。

■病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業

①病院での啓発イベント実施

「小児病棟わくわく応援団」との共催により、都立小児総合医療センターにてリアルイベントを開催した。病児家族当事者への啓発に加え、医療現場の方々に対しても、小児病棟の子どもたちや家族を支援する活動への認知向上につながった。

②地域の食支援活動の促進

全国の食支援団体ネットワーク「小児病棟付き添い食支援連絡会（えんたく）」の事務局として、タケダ・ウェルビーイング・プログラムの助成のもと、「付き添い食を提供したい人・団体のための運営ノウハウ実践講座」を継続実施した。さらに、講座内容を冊子化し、「支援団体のための付き添い食スタートガイドブック」を発刊することで、地域における付き添い家族への食支援活動を後押しした。

③付き添い当事者調査の実施

2022 年以來 3 年ぶりとなる、付き添い当事者への大規模アンケート調査を実施した。付き添い入院の生活実態、環境変化、政策効果等を検証することを目的に、全国の付き添い経験家族から広く回答を収集し、有効回答数は 1,198 名となった。調査結果は、こども家庭庁・厚生労働省への政策提言資料として活用する予定である。

④病院向け付き添い環境実態調査の実施

小児病棟の施設管理者を対象に、付き添い環境に関する実態調査を実施した。NPO 法人が病院を対象に付き添い環境の調査を行う初めての取り組みとして、令和 6 年度診療報酬改定で盛り込まれた「食事・睡眠・見守り」に関する改善策の普及状況や、現場の課題把握を行った。調査結果は、今後の政策提言に活用する予定である。

⑤都道府県への補助金活用状況調査の実施

各都道府県が、こども家庭庁の補助金を活用して付き添い入院に関する取り組みをどの程度実施しているかを調査した。補助金の予算獲得状況や具体的な事業実施内容を把握することで、全国の付き添い環境改善の実態を明らかにし、地域格差の解消に向けた政策提言の根拠資料とした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 42,047】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 病児等を育てる家族に対する生活支援事業	①ミール de スマイリング事業(小児病棟、ファミリーハウスで付き添い入院中の家族へのお弁当の提供) ②付き添い生活応援バック無償配布事業(小児病棟で10日以上付き添い中の家族に食料品・生活用品の提供) ③付き添い生活応援バックライト事業(小児病棟へ短期・緊急付き添い中の家族に食料品・生活用品の提供) ④交通費支援事業(遠方から病院へ通うご家族へ現金給付) ⑤付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」事業(Webサイトによる付き添い生活情報の提供) ⑥クリスマスプレゼント配付事業(年末年始に病院で過ごし家族へプレゼント) ⑦病院支援事業(全国の小児科病棟へ物品支援、情報支援)	①令和7年4月～毎月1回 ②令和7年4月～平日毎日発送 ③令和7年7月～毎月送付 ④令和8年2月～ ⑤令和7年4月～ ⑥令和7年11月～ ⑦令和8年3月	①マクドナルドハウス せたがや/東大/ふちゅう、聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院、佐賀大学医学部附属病院 ②小児病棟、ファミリーハウス ③小児病棟 ④小児病棟 ⑤Webサイト ⑥小児病棟 ⑦小児病棟	①3名 ②6名 ③10名 ④4名 ⑤4名 ⑥10名 ⑦4名	①1回1施設20～50名 ②全国病院564施設 ③全国病院54施設 ④全国の心臓・腎臓移植待ちのご家族 ⑤全国の入院中のご家族 ⑥全国病院43施設 ⑦全国病院	①1,042名 ②3,131家族 ③8,725家族 ④8名 ⑤— ⑥1,565個 ⑦4施設	35,741
(2) 病児等を育てる家族に関する調査研究、普及啓発、人材育成、政策提言および連携促進にかかわる事業	①病院での啓発イベント ②地域の食支援活動促進 ③付き添い当事者調査 ④病院向け付き添い環境実態調査 ⑤都道府県への補助金活用状況調査	①令和7年5月11日 ②令和7年4月～令和7年6月 ③令和7年11月～12月 ④令和7年11月～12月 ⑤令和7年11月～12月	①東京都立小児総合医療センター ②オンライン ③オンライン、電話 ④オンライン、電話 ⑤オンライン、電話	①10名 ②3名 ③12名 ④12名 ⑤12名	①当事者家族 ②全国支援団体 ③付き添い入院経験家族 ④全国病院700施設 ⑤47都道府県	①— ②— ③1,198名 ④242病院 ⑤47	6,306
(3) その他、この法人の目的を達するために必要な事業	令和7年度は活動実績なし						0